

(別紙5)

整理番号 2020P-108
補助事業名 2020年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

薬物乱用の防止を図る上で、まだ薬物を使用したことのない青少年に対して薬物乱用による精神的・身体的危害の恐ろしさを普及啓発することは最も効果があるといわれていることから、青少年に対して覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用が非常に危険であり、手を出してはならないというメッセージを効果的に伝えるため、球場での映像放映による端的なメッセージの伝達と情報誌による薬物乱用防止指導員からの個別の情報伝達の質の向上を目的とする。

(2) 実施内容 URL (http://www.dapc.or.jp/torikumi/2020_jka.html)

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像(110組)を製作し、日本プロサッカーリーグ(J1、J2、J3の一部)及びプロ野球機構並びに高校野球地区予選等の放映用として各都道府県に配布した。

また、都内2カ所(渋谷、原宿)の街頭ビジョンで放映を実施した。



※原宿駅前街頭ビジョンでの放映

(別紙5)

- ・情報誌「ニュースレター」の発行

URL (http://www.dapc.or.jp/torikumi/61_newsletter.html)

ニュースレター第103号(2020.9)を発行(20,000部)し、全国の薬物乱用防止指導員、各都道府県、関係省庁、関係団体等に配布

2 予想される事業実施効果

青少年薬物乱用防止のための啓発広報事業

- ① 啓発メッセージ映像を「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の期間中に各試合会場で放映する予定としていたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止となった会場が多く予定した効果を得ることができなかった。
しかし、都内2カ所の街頭ビジョンでは普及運動期間中連日放映を実施したことから、薬物乱用防止に関する青少年の意識の高まりに寄与できた。
- ② ニュースレターの発行・配布により、各地域で活動する薬物乱用防止指導員等の啓発活動技能の向上を図ることができたので、今後とも、これら指導員等の活発化が期待される。

3 補助事業に係わる成果物

- (1) 補助事業により作成したもの

- 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像 110組(2枚セット)



【基本編】



(別紙5)



【解説編 (大麻について)】

| | |
|--|---|
| <p>① 薬物乱用防止啓発映像「解説編(大麻について)」</p> <p>大麻の乱用が増え続けています</p> <p>昨年の検挙者数、押収量は共に過去最多となり</p> <p>特に20代から、10代での拡大が深刻です</p> <p>SNSやインターネットでは関連した情報が拡散され、隠蔽を助けた不正な取引も行われていて</p> | <p>② 「アソビに大麻」蔓延続 危険興奮生活様態被害</p> <p>土曜、日祝日の不安定な生活スタイルが、若年層の大麻利用に結びつき、危険興奮生活様態被害が深刻化している</p> <p>土曜、日祝日の大麻利用が顕著に増加している</p> <p>若年層、特に10代、20代の大麻利用が顕著に増加している</p> <p>若年層の大麻利用が顕著に増加している</p> |
|--|---|

ニュースレター第103号 20,000部

URL (<http://www.dapc.or.jp/torikumi/no103/103.pdf>)



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター
(コウエキザイダンホウジンマヤクカクセイザイランヨウボウシ
センター)

住 所 : 〒107-0052
東京都港区赤坂2-4-1 白亜ビル9階

代 表 者 : 理事長 藤野 彰 (リジチョウ フジノ アキラ)

担 当 部 署 : 総務部 (ソウムブ)

担 当 者 名 : 総務部長 白井 正夫 (ソウムブチョウ シライ マサオ)

電 話 番 号 : 03-5544-8436

F A X : 03-5544-8473

E - m a i l : shirai@dapc. OR. JP

U R L : <http://www.dapc.or.jp>